

～ 多様な「つながり」が「暮らし」と「いのち」を守る ～

社協 ひね



種芋を切るところからスタート！
3種のジャガイモを育てます



手作り看板★



サツマイモの水やりも力を合わせて



スイカ・カボチャの苗植えに挑戦！

7月
2022
第222号

旭森学区 “ふれあい農園での地域交流”が 始まりました！

旭森学区社会福祉協議会では、彦根市社協の“福祉のまちづくり活動助成事業”を活用し、地域住民の交流機会と場づくりに向けて動き出されました。

休耕田を利用した野菜づくりでは、植付けや収穫体験を通して、子どもや高齢者、障害のある方や閉じこもりがちの方などいろんな人が交流できる場となるように取組を進めていけます。最初は子ども2人と野菜作りの指導者、旭森子ども教室・学区社協の役員と一緒にジャガイモを植え付けられました。

種芋植えが初めての子どもたちは、大人に植え方や土のかけ方などを教わりました。草むしりや水やりなどの手入れをしながら大切に育て、成長を見守り収穫時期を待ちます。彦根市社協では、野菜づくりを通して旭森の住民の多様な交流機会が生まれることを期待し、この活動を応援していきます。

彦根市社協では、「見守り合い活動」および「見守り会議」に取り組まれる自治会様向けの助成制度をご用意しています。詳しくは社協ホームページをご覧ください。

みんなの地域をみんなで作る～こんな取りくみいいね!～

彦根市内の各地域にはさまざまな形の集いの場があります。

高齢者が集えるサロン、子育て世代が気軽に集まることができる居場所、世代を問わず集まれる居場所など、多様な集いの場が増えてきました。

また、表紙で紹介した野菜作りを通じた交流機会のように、地域のつながりづくりを目的とした交流のカタチも多様になってきています。

コロナ禍が長期化し、改めて“人と人”“人と地域”のつながりの大切さを実感している今、つながるカタチもいろいろあっていい!地域のつながりづくりは「楽しく」「気軽に」「無理なく」「自由に」進んでいきます。

彦根市社協では、地域住民のつながりを深めることを目的に、地域の身近な集いの場としてサロン活動を推進しています。

「サロンおたすけ本」vol.4は、「やっぱりサロンっていいね♪」がテーマ。昨今のコロナ禍で、人と人とのつながりや集う場の意義を再認識する声が聞こえてくる中、感染対策をしながら集いの場を継続したり、「今だからこそ!」と場を立ち上げたり、つながりが途切れないようにと新たな「集うカタチ」で取り組んだり、多様な集いの場が増えてきました。活動のヒントに、ぜひご覧ください(彦根市社協ホームページからダウンロードできます) ☆左ページで紹介しているサロンについても掲載しています。

にこにこクラブ

仏生寺町

お寺で集う“なごみ”の場

日常の集まりもいろいろな制限を受けるなか、コロナで思うように人と人がつながる機会が減ってきたと感じていた時に、地域の人から「サロンを開いて」との声が上がり、その声が支えとなり活動を続けられています。



▲広い空間で余裕を持って体を動かせます

お寺を地域の憩いの場として、ご近所同士がお互いに気軽に気に掛け合える居場所が地域の人たちの拠りどころとなっています。



ポイント
市内のサロン等が一目で分かります!

ここ見て
コロナ禍での工夫された取り組みをされています♪



サロンおたすけ本
発行しました

地域活動を応援します!

コロナ禍で集う活動が少なくなり、孤立やフレイルを心配する状況が続いています。「最近、顔を見ていないけど元気かな?」「足腰が弱って、外に出るのが億劫みたい」
出会えないからこそ、お互いを気にかけて合うことが大切です。

これまでのつながりが途切れないように「集う」から「会いに行く」見守りのカタチへ。地域活動サポートセットをご活用ください

地域支え合い
推進員おすすめ!
地域活動
サポートセット

【訪問カード】
相手を想って、あいさつプラスOne♪
手書きならではの温かみを感じられます



【交換ノート】
日々にあった出来事や伝えたいことを文字で伝えてコミュニケーション



【脳トレシート】
おうち時間で楽しく
認知症予防しましょう



池州町サロンクラブ

池州町

みんなで一緒に楽しむ居場所

高齢化や自治会行事の縮小で、昔ながらのつながりが薄れてきたと感じていたところに、コロナで顔を合わせる機会も減ってきて。「今だからこそ、みんながつながれる場が必要!」との思いで、サロンを立ち上げられました。

ご近所同士のつながりがあってこそ、困ったときに「助けて」と言えるもの。

子どもから高齢者まで、みんなが気軽に集える場(サロン)で、どんなことができるか考え中。つながれる場があるって素敵ですね♪



▲いろんな世代が顔を合わせて、会話が弾みます

このページに関するお問い合わせは、
彦根市社会福祉協議会 地域支援課地域サポート係
TEL 0749-22-2821 FAX 0749-22-2841

“子どもの居場所づくり”を応援します

彦根市社協では、身近な地域で暮らす子どもたちの健全な成長に欠かせない食事や学びを提供することで、子どもたちが安心できる居場所づくりを応援しています。

「子どもたちのために何かしたい!」「何か力になればなあ」という思いはあるけど、どうすればよいか分からない方、一緒に活動してくれる仲間をお探しの方などおられましたら、ぜひご相談ください。みなさんの身近な子どもの居場所づくりを彦根市社協も一緒に進めていきます。

- ・一緒に活動する仲間の募集をお手伝い!
- ・寄付された食材の提供
- ・情報の提供や相談
- ・子どもの居場所づくり活動者の交流の場を開催
- ・立上げに必要となる助成金

「子どもの居場所づくり」助成事業

対象となる団体

居場所づくり事業の実施主体は、地域の中で継続して子どもの「食」や「学び」に関する事業に取り組もうとする団体・個人であることとし、対象は下記のとおりとします。

- ①NPO法人
- ②子ども支援に関わるグループ
- ③その他会長が特に必要と認める者



事業あたりの助成額および対象経費

項目	助成金の額	対象経費
基本額	1年目 30,000円上限	活動に直接要する経費とし、次の各号いずれかに該当するものに限る。 (1)消耗品費:周知チラシ用紙代等 (2)印刷製本費:周知チラシ印刷代等 (3)備品費:机、イス、書籍、参考書等 (4)設置工事費:本棚の設置等 (5)その他会長が必要と認める経費
	2年目 20,000円上限	
	3年目 15,000円上限	
活動運営費	1年目 開催1回につき5,000円 2年目 開催1回につき4,000円 3年目 開催1回につき3,000円 (いずれも年度内50回を上限※)	特に用途を問わない。 (活動奨励金として交付するため)

※年度途中に開始する場合は、週1回を上限とする。

＜お問合せ先＞

地域支援課 地域づくりボランティアセンター
TEL:0749-22-2821
FAX:0749-22-2841

←詳しい要項や申請用紙はコチラ
(彦根市社協HP)から
ダウンロードできます



令和3年度“子どもの居場所づくり”助成を受け、実施された活動を紹介します!!

ええこのおたく E-ko no OTAKU



子ども食堂

コロナ禍の中でも子ども達には集い笑いあえる場が必要だという思いから、昨年度スタートした子ども食堂「E-ko no OTAKU」さん。集うのが難しい時には、予約された方へお弁当を配るという形で子ども達や子育て中のご家族とのつながりを切らさないように応援してこられました。

おひさま文庫



子どもの学びの場

地域文庫として活動を続けてきた「おひさま文庫」さん。南地区公民館(第1・3・5土曜)と日夏町公民館(第1・3・5木曜)で、絵本の貸し出しや読み語り、季節に応じた行事などで子どもの居場所づくりをされています。

彦根市 子ども・若者支援ガイドブック ～学びと育ちを応援～

彦根市・彦根市社協が協力して、子ども・若者が生きていく中で不安に感じた時、悩みを抱えた時にどこに相談すればよいか等みなさんに役立てていただくため「彦根市子ども・若者支援ガイドブック」を作成しています。この「ガイドブック」は彦根市等が子ども・若者支援として実施している相談窓口や、支援機関の情報をまとめたものです。



▲こちらからダウンロードできます

一歩ずつ一歩ずつ、進めています「ひきこもり支援」

彦根市では、自ら相談支援機関などへつながることが難しいと思われる中長期の引きこもり状態の方などに対し、医療・福祉・保健等の機関や専門職が連携し、時間をかけてつながっていきけるよう「ひきこもり支援ネットワーク会議」を2020年より行っており、支援チームづくりや専門職のスキルアップを目的とした研修などを進めています。

2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から集合型研修は行わず、今後、異動などで担当者が変わった時などにも使ってもらえるよう専門職向けのDVDを作成し、関係機関へ配布しました。

また、本会では2021年度より、主に中長期のひきこもり状態にある方を対象に、相談支援のきっかけづくりを目的としたアウトリーチ訪問を実施しています。

ご本人やご家族はもちろん、関係者の方からの相談もお受けします。お困りのことがありましたら、まずは気軽にご相談ください。

<お問い合わせ・連絡先>

彦根市社会福祉協議会 相談支援課 生活相談支援係
TEL:0749-22-2821 FAX:0749-22-2841



市内どこでも
お伺いします。



『彦愛犬権利擁護サポートセンター』だより



彦愛犬権利擁護サポートセンターとは？

彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町にお住いのみなさんを対象に、認知症や知的障がい、精神障がいなどで暮らしに関するいろいろなことを自分自身で決められなくなったとしても、その人らしく住みなれた地域で暮らし続けられるよう、「成年後見制度」などの制度を活用して、関係者とともにもその人らしい暮らしを送る権利を守り（＝擁護し）、"よりよく生きる"お手伝いをさせていただきます。

成年後見制度とは？

認知症や知的障がい、精神障がいなどで十分な判断ができない場合、預貯金の管理等財産の管理や福祉サービスの利用契約などを自分でするのが難しいことがあります。また、その人にとって不利益な契約でも、そのことを判断できずに結んでしまい、悪徳商法の被害にあうおそれもあります。

そういった十分な判断ができない人の希望を聞きながら、財産管理や契約などを行うことでご本人を守り、支援するのが「成年後見制度」です。

成年後見制度は、大きく分けると、「法定後見制度」と「任意後見制度」の2つの制度があります。

◆お問い合わせ先や「もっと聞きたい」ことなどありましたら、こちらまでご連絡ください◆
彦愛犬権利擁護サポートセンター 〒522-0041 彦根市平田町670
TEL:22-2855 FAX:22-2856 E-mail:kenri-hikone@giga.ocn.ne.jp



いつでもボランティアさんを募集しています♪



障害のある人もない人も

「誰もが」自分らしく活躍できる地域に



ゆるキャラ「ifにゃん」



認定NPO法人サタデーピア

サタデーピアは、心のバリアフリーを目指し、「ひろげよう！優しい気持ちと思いやり」をモットーに、メンタルヘルスに関わる活動をしています。

彦根市初のNPO法人として1999年設立、2013年には「認定NPO法人」として認証を受け、市民をはじめ日本各地の方からご支援をいただいています。

精神保健福祉をテーマにした講座や研修会、お笑いイベントの開催等とともに、障害福祉サービス事業所を運営し、西今町のカフェ「夢工房if」では、美味しいランチやクレープ、中央町店「ifにゃん」ではクッキーや工芸品の数々が、地域の皆様にご愛顧いただいています。

「ピア」って何？

ピア(peer)とは、「仲間」や「同等」「対等」などの意味を持つ言葉です。

ピアサポートとは、同じ体験をした人同士が、対等な仲間として支え合うことです。偏見を持たれがちな疾病や障害、事故や災害の被害を経験した人同士の支え合いの輪が各分野で広がっています。

ピアレンジャーも活動中



サタデーピアのピアサポートの取り組み

サタデーピアは設立当初より当事者やご家族、専門職が対等な仲間として、それぞれの得意や強みを活かして活動しています。

- ピアサポートクラブ
ピア講座修了者を中心にしたグループピア相談
- ピア余暇活動
ポッチャ、卓上ゲーム、水彩画サークルなど
ピアサポーターとともに楽しむ余暇活動(要事前申込)
お問い合わせは 夢工房if 0749-23-8896 まで
- ピアサポーター養成講座

ピアサポートやピアカウンセリングについての基本的な知識の学びやスキルトレーニングとともに「ピアサポートのルール」を身に付けることを大切に全18時間の講座。スキルやルールをしっかり身に着けたピアサポーターが地域福祉で活躍できることを目標にしています。2006年からの講座で150名超が修了。



～ピアに関心がある方へ、講座のご案内～

「地域で暮らしていく」ということ

～地域住民との多様なつながりが暮らしを輝かせる～

障害当事者としてこれまで感じてきたことや
学び・経験をお話いただけます。

- ◆講師 マルチスイッチ 代表 木村 寛子さん
- ◆日時 令和4年7月30日(土)13:30～15:30
- ◆場所 彦根市福祉センター別館2階 集団健診室(彦根市平田町670番地)
- ◆参加対象 どなたでも ◆参加無料
- ◆会場定員30名(オンライン参加も可能です)
- ◆問合せ・申込 湖東地域障害者自立支援協議会 担当 大塚
TEL:0749-35-0008 FAX:0749-35-0021

令和4年度より、ボラカフェは 毎月第1・3・5水曜日 に開催日を変更しました。

時間:9時30分～12時30分
場所:彦根市男女共同参画センター「ウィズ」
ボランティアの相談やおしゃべりに利用ください。



滋賀県レイカディア大学 第44期 学生募集のお知らせ

高齢者の社会参加の場を創り出す、新しい知識と教養を身につけ、地域の担い手として活躍できようサポートする学びの場です。

応募期間 令和4年6月1日～7月29日
応募に関する問い合わせ
草津校 077-567-3901

一人ひとりの寄付の思いをつむぎ、みんなと共に地域づくりへ



令和3年度彦根市社協賛助会費にご協力いただき、ありがとうございました。皆様からいただいた会費は、地域福祉活動や福祉団体の支援などの貴重な財源として活用させていただきます。



令和3年度賛助会費にご協力いただいた皆様

(令和4年3月31日現在)

伊吹山ガマの油口上保存会 しあわせ保育園 認定NPO法人サタデーピア
 ハッピーフィットネス彦根 彦根市聴覚障害者協会

(順不同・敬称略)

※公表に同意いただいた方のみ掲載しています(社協ひこね第220号掲載分を除く)。

令和4年度賛助会費にもご協力をよろしくお願い申し上げます。



【お問合せ先】 彦根市社協総務課 電話：22-2871 FAX：22-2841

あたたかい思いやり♥ありがとうございました



彦根善意銀行

令和4年2月1日～4月30日

〈古切手、使用済みテレホンカード〉

- △石原保 △医療法人いいい会 せい医院 △NPOぽぽハウス △かいぜ寮 △株一圓興産 △株岡島トーヨー住器
- △株川地工務店 △株式会社日本デキシー滋賀工場 △株式会社高木造園 △株式会社ナイキ彦根工場 △株式会社ヤマヨ
- △株式会社ワールドプラン彦根営業所 △木元美和子 △滋賀県東部地区郵便局長夫人会 彦根部会 △清水工業株式会社
- △城南学区老人クラブ △寿楽会 △鈴木ヘルスケアサービス △すみよしくりニック △関口真弓 △千菊幸子 △田中麗子
- △谷居匡 △デイサービスセンターきらら △野沢弘幸 △八月十六 △樋口久雄 △彦根亀山郵便局
- △彦根市精神障害者家族の会 集まろう会 △彦根市赤十字奉仕団 △彦根市内郵便局
- △彦根市役所(障害福祉課・農林水産課・彦根市発達支援センター) △彦根モラロジー事務所
- △普光寺町ボランティアサークル 燦々会 △古沢鶴寿会 △ミタニダンススタジオ △村岡一美 △(有)シナプス
- △(有)藤塚時計店 △有限会社光田産業 △要約筆記サークル キャロット △匿名(20名)

〈ベルマーク・ロータスクーポン〉

- △青山信子 △稲部町 西澤 △医療法人いいい会 せい医院 △NPOぽぽハウス △大洞かずみ △岐阜協立大学 彦根支部
- △滋賀県東部地区郵便局長夫人会 彦根部会 △すみよしくりニック △千菊幸子 △木元美和子
- △デイサービスセンターきらら △野沢弘幸 △久木美一 △古沢鶴寿会 △普光寺町ボランティアサークル 燦々会
- △彦根市内A子 △彦根市発達支援センター △匿名(10名)

物品預託

(敬称略)

氏名または団体名	品名
竹田大輔	大人用紙おむつ、尿取りパッド
田中麗子	シャンプー等
デイサービスセンターきらら	大人用紙おむつ
村岡一美	毛布、靴下等
村林妙子	大人用紙おむつ
松村君江	着物、帯
匿名(15名)	大人用紙おむつ、尿取りパッド、生理用品、ノート、洗剤、哺乳瓶、肌着、トイレットペーパーなど

金銭預託

(敬称略)

氏名または団体名	金額(円)
葉枝見小学校昭和24年度卒業同窓会一同	11,396円
彦根市内A子	2,000円
匿名	2,000円
匿名	2,000円

善意銀行よりお知らせ

いつも善意銀行へ寄付を届けていただき、ありがとうございます。

寄付は、誰でも気軽に参加できる「ちょいボラ活動」の一つ。多くの方に関心を持っていただけるよう、「社協ひこね」に寄付者氏名を掲載しています。より幅広い世代の参加のきっかけとなる情報をお届けできるよう、リサイクル(古切手、ベルマークなど)の寄付者氏名については、10月1日発行号にて掲載を終了し、ホームページやSNSでの発信に変更させていただきます。皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

事業報告

令和4年度からスタートする、
【第2次彦根市地域福祉活動計画】を策定しました!
(新しい活動理念)

“多様な「つながり」が「暮らし」と「いのち」を守る”
を活動理念に掲げ、誰一人取り残されることなく安心して
暮らし続けることができる地域づくりを実現していきます。

令和3年度事業の特徴

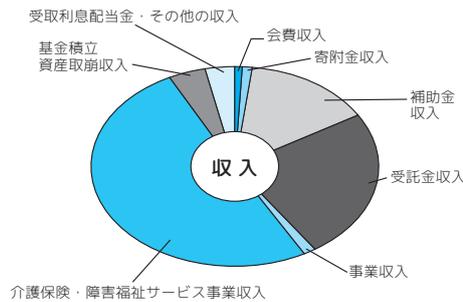
- ◎ 第2次地域福祉活動計画の策定
- ◎ はびとも基金の創設およびロゴマーク決定
- ◎ 「はびとも号」の運行開始
- ◎ 役員・評議員一斉改選および新会長の選任
彦根市社協第28期会長 磯谷直一
- ◎ ボランティアフェス(仮)の開催
- ◎ 「雪かきボランティア」による通学路の除雪
(災害級大雪による)

令和3年度決算報告

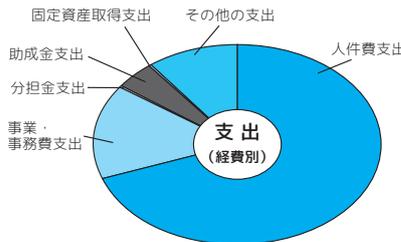
(自 平成3年4月1日 至 令和4年3月31日)

一般会計

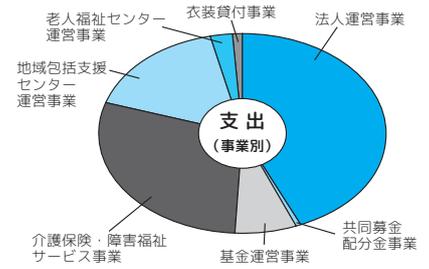
収入の部	単位(円)
会費収入	4,412,600
寄附金収入	5,279,994
補助金収入	68,799,510
受託金収入	115,936,217
事業収入	6,209,700
介護保険・障害福祉サービス事業収入	240,812,565
基金積立資産取崩収入	20,700,000
受取利息配当金・その他の収入	15,091,141
収入の部合計	477,241,727



支出の部(経費別)	単位(円)
人件費支出	327,991,220
事業・事務費支出	72,632,653
分担金支出	913,000
助成金支出	20,120,781
固定資産取得支出	2,038,425
その他の支出	47,718,398
支出の部合計	471,414,477
当期資金収支差額合計	5,827,250



支出の部(事業別)	単位(円)
法人運営事業	205,339,814
共同募金配分金事業	2,657,793
基金運営事業	32,273,410
介護保険・障害福祉サービス事業	137,825,106
地域包括支援センター運営事業	77,110,355
老人福祉センター運営事業	12,275,407
衣装貸付事業	3,932,592
支出の部合計	471,414,477
当期資金収支差額合計	5,827,250



事業報告、決算報告の詳細は本会ホームページをご覧ください。(http://www.hikone-shakyo.or.jp) また、本会事務局および各事業所で閲覧することができます。

日本赤十字社活動資金への、ご理解ご協力ありがとうございました。



令和3年度実施しました日本赤十字社活動資金の募集については、コロナ禍で誰もが大変な中、多くの皆さまから温かいご協力をいただき、誠にありがとうございました。

お寄せいただいた資金は、日本赤十字社滋賀県支部を通じて国内外での「命を救う、命をつなぐ赤十字活動」に大切に活用させていただきます。

★令和3年度赤十字活動資金実績額(彦根市地区)

合計 4,987,696円

(内訳) 自治会	3,302,252円
個人	339,472円
法人	1,263,000円
その他(募金箱)	4,472円
その他(ファイル)	78,500円



ひこにゃん×ハートちゃんコラボ
オリジナルクリアファイル進呈中!

令和4年度も日本赤十字社活動資金へのご協力をお願いするため、一口500円以上ご協力いただいた方にクリアファイルを進呈します!(現在は社協事務局のみでの取扱いとなります。)



日本赤十字社

義援金・救援金への
ご協力をお願いします



日本赤十字社では、義援金・救援金を受付してあります。お寄せいただいたご寄付は被災地域・被災国の赤十字社が行う支援活動に役立てられます。

- ・令和2年7月豪雨災害義援金
- ・アフガニスタン人道危機救援金
- ・ウクライナ人道危機救援金 ほか

【受付・問合せ】日本赤十字社滋賀県支部彦根市地区
【事務局】彦根市社会福祉協議会 総務課
TEL: 0749-22-2871

貸衣装だより



【お問合せ】
彦根市社会福祉協議会 貸衣装室
TEL：0749-22-1122（直通）
【営業時間】
月～金曜日
8：30～17：15（祝日除く）
第2土曜日
9：00～17：00



2024年 成人式用振袖の予約開始

7月1日（金）より2024年成人式に使用する振袖の予約を開始します。対象者は下記の通りです。

対象者：平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの方

社協では、良質で低価格の振袖を30着、豊富な色や柄で取り揃えてあります。あなたにピッタリの一枚を探してみても？

また、6月6日（月）～8月31日（水）の期間、常時展示しておりますので、当会貸衣装室まで一度見学にお越しください。

振袖フルセット価格：35,000円または30,000円

【セット内容】
着物・帯・長襦袢・帯揚げ・帯締め・重ね襟・肌着・腰紐(3)・伊達締め(2)・コーリンベルト・三重仮紐・帯枕・前板・後板・衿芯・草履、バッグ、ショール



	種 類	利用料金（税込）
女	留袖	5,000円～25,000円
	訪問着	8,000円～20,000円
	振袖	25,000円～35,000円
性	中振袖	6,000円
	袴	4,000円
	喪服・ブラックフォーマル	5,000円
	洋装（慶事用）	1,000円～5,000円
男	紋付羽織袴	9,000円
	モーニング	7,000円～9,000円
	略礼服・スーツ	5,000円
子	初着	5,000円
	七五三	5,500円～7,500円
	男児スーツ	2,000円～3,000円
	女兒ドレス・スーツ	2,000円～2,500円

その他のニュース

- Instagramとtwitterの専用アカウントができました。タイムリーな情報を発信していますので、是非登録をお願いします。
- 2023年の成人式用振袖の予約も行っています。まだお決まりではない方は、是非当貸衣装室まで見学にお越しください。（残りわずか）
- ホームページで全衣装が閲覧可能です。「貸衣装室まで行くのはちょっと…」と思っている方は、下記URLまで！

<http://www.hikone-shakyo.or.jp>